

令和5年度 全国学力・学習状況調査 能美市結果 [中学校]

令和5年11月 能美市教育委員会

1 実施校・学年 市内3中学校 第3学年

2 実施日 令和5年4月18日(火)

3 実施内容 (文部科学省HPより引用)

(1) 教科に関する調査 国語, 数学, 英語

<出題内容>

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数・数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出题し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

(2) 質問紙調査(生徒質問紙) 学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面等

4 注意事項

調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面であることをご理解ください。

5 調査結果

(1) 教科に関する調査の状況 ※県平均・全国平均との比較

	県平均との比較	全国平均との比較
国語	やや下回る	同程度
数学	やや下回る	やや上回る
英語	同程度	やや上回る

「上回る」 平均正答率と県・全国平均との差が、5%以上, 上回る
「やや上回る」 2%以上~5%未満, 上回る
「同程度」 -2%未満~+2%未満
「やや下回る」 2%以上~5%未満, 下回る
「下回る」 5%以上, 下回る

【国語】

- ・成果: 事象や行為、心情を表す語句について理解すること、聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめること、目的や場面に応じて質問する内容を検討することや、聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることはできています。
- ・課題: 文脈に即して漢字を正しく書くこと、情報と情報との関係について理解すること、読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることについては課題があります。

【数学】

- ・成果: 数と整式の乗法の計算をすることなどの基礎的・基本的な計算技能は身に付いています。
- ・課題: 結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つことを見だし、説明することに課題があります。空間における平面が同一線上にない3点で決定されることの理解や、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題があります。

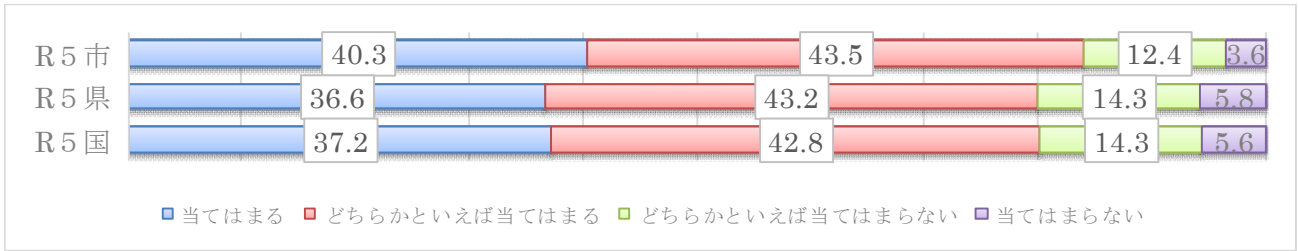
【英語】

- ・成果: 日常的な話題について、短い情報を正確に聞き取ったり、文と文の関係や事実と考えを区別して読んだりすることはできています。
- ・課題: 日常的な話題に関する文章の概要を捉えたり、社会的な話題について自分の考えや理由を話したり書くことに課題があります。

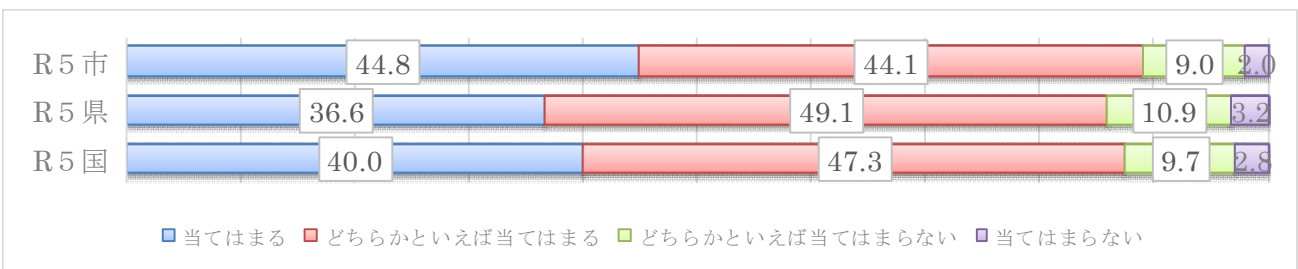
(2) 生徒の状況を示す質問紙調査から見てくる能美市の中学校3年生の姿

- ① 自己を肯定的に捉え、周囲の友達も尊重しながら、物事に積極的に挑戦したり粘り強く取り組んだり意欲的に学校生活を過ごしている生徒が多くいます。

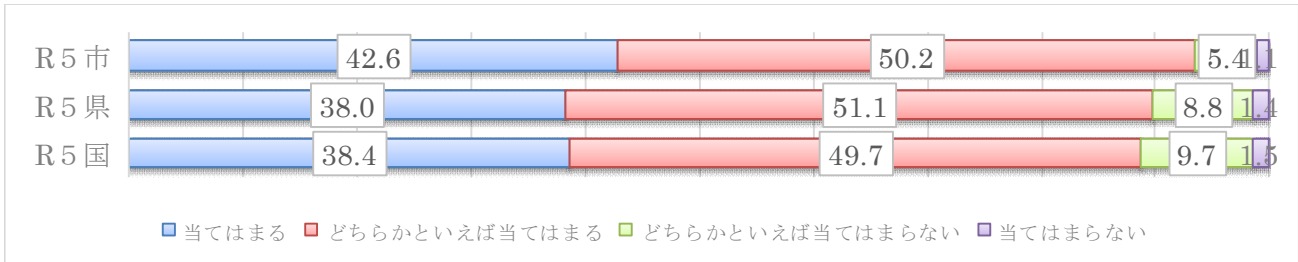
自分には、よいところがあると思いますか



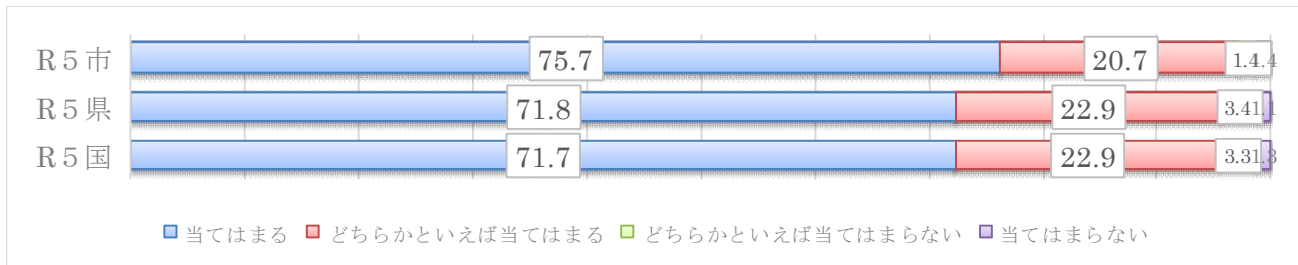
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



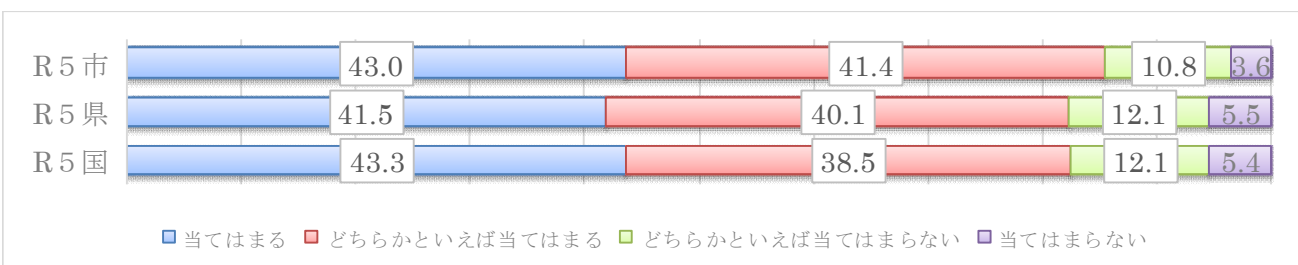
人が困っているときは、進んで助けていますか



人の役に立つ人間になりたいと思いますか

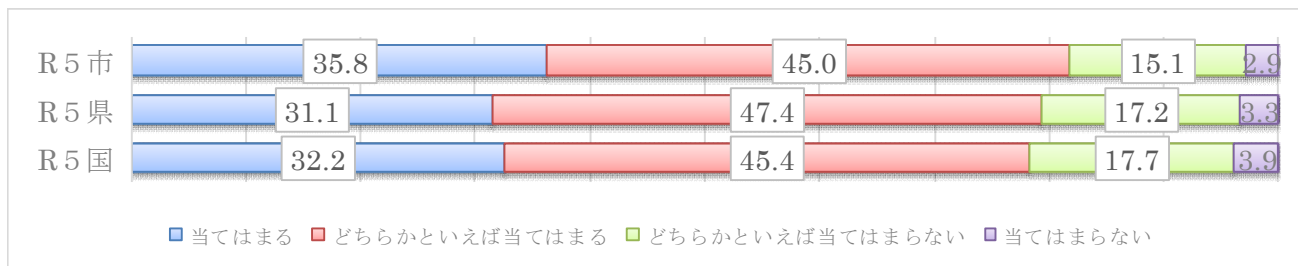


学校に行くのは楽しいと思いますか

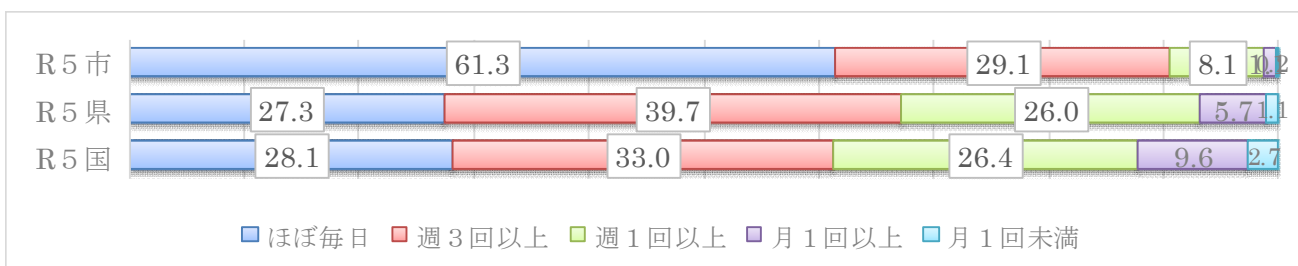


② 1人1台端末等，ICT機器を活用した授業の充実により，日々の授業において，主体的・対話的に学びを深めている生徒が多くいます。

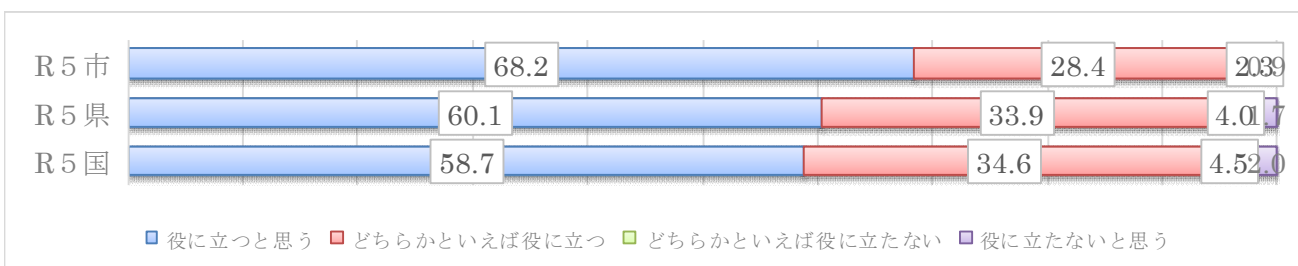
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか



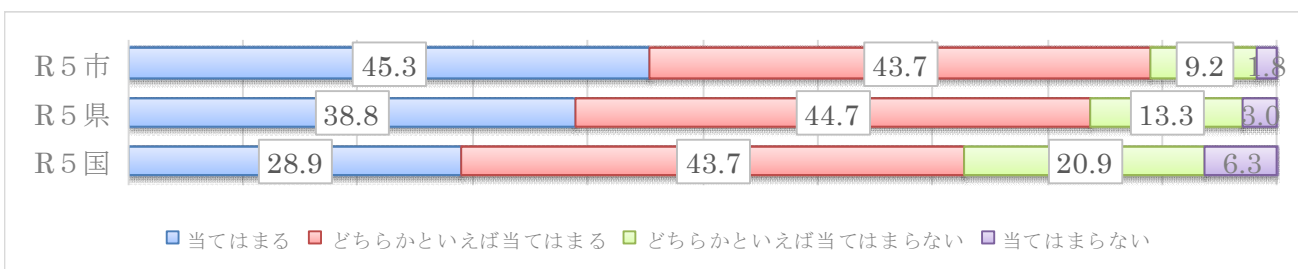
1，2年生のときに受けた授業で，PC・タブレットなどのICT機器を，どの程度使用しましたか



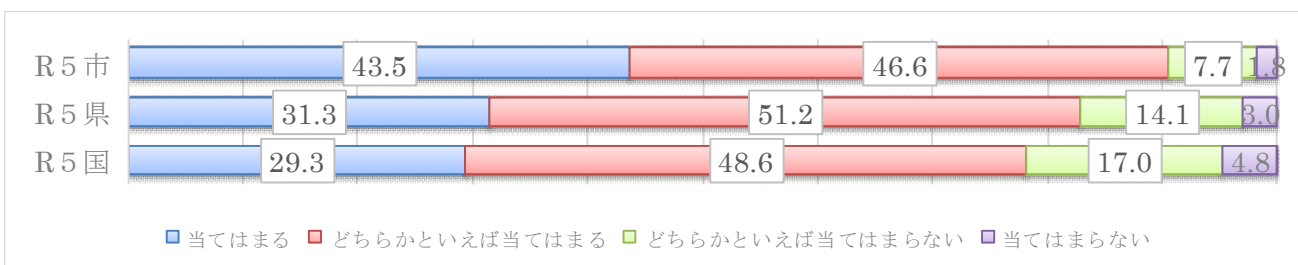
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思えますか



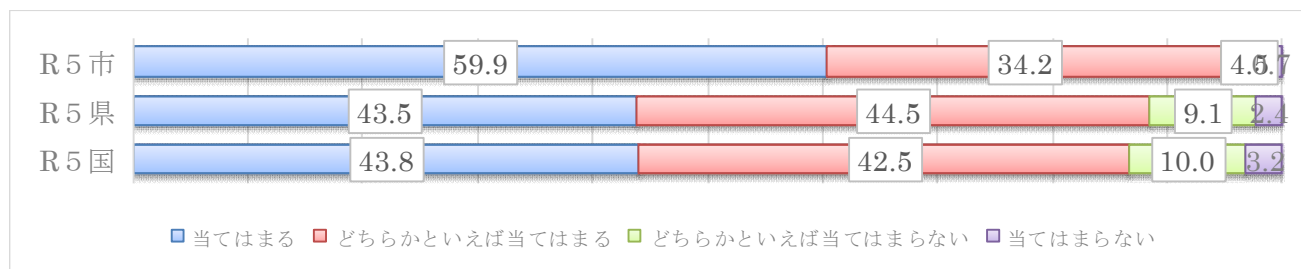
総合的な学習の時間では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



あなたの学級では，学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い，互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか

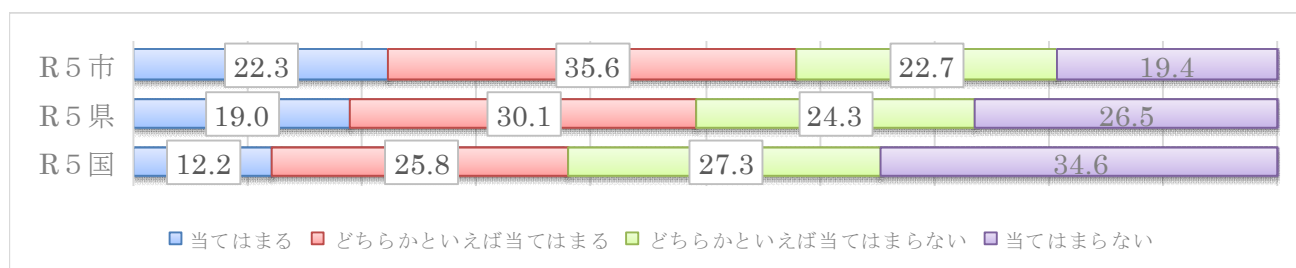


道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

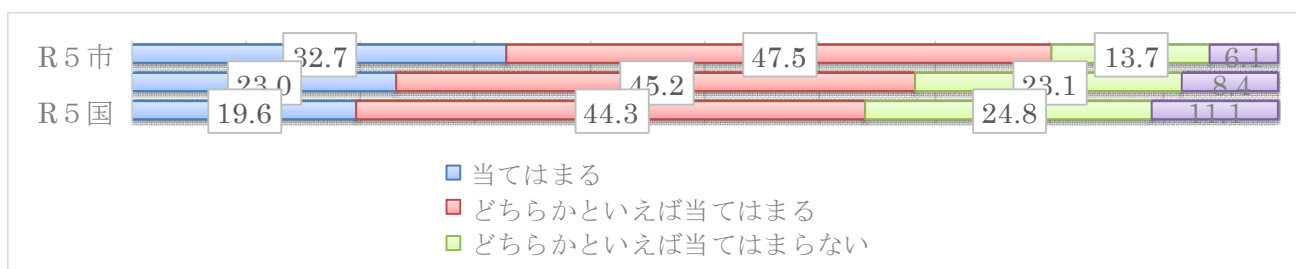


③ ふるさとに進んで関わり、その未来について自分事として考えている生徒が多くいます。

今住んでいる地域の行事に参加していますか



地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



(3) 教科に関する調査・質問紙調査の結果をふまえて

能美市教育委員会及び能美市内各校においては、これまで子供たちの学力や学習状況を把握し学力向上につながる取組を行ってきましたが、その取組の成果が少しずつ結果に表れてきていると捉えています。

GIGA スクール構想の推進については、一人一台端末を、授業はもちろんのこと家庭での持ち帰りにおいても日常使いができるよう環境整備に努めてきました。生徒たちの授業での活用頻度は国や県平均と比較して非常に高く、「ICT機器を使うのは勉強の役に立つ」との質問に対して、肯定的回答が約97%となっています。自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に有効活用されていることがうかがえます。

また、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動にも、一人一台端末の活用が有効です。友達の考えを共有する機能や、友達と協働編集する機能などを使って、自分の考えを広げたり深めたりし、主体的・対話的で深い学びを実現し、生徒の資質・能力の育成を目指していきたいと考えます。

これまで行ってきた次の取組を今後も継続することと、DXが進む中でのAI利活用や次期学習指導要領も見据えながら、地道に実践を重ねていくことで、能美市の子供たちの力をさらに伸ばしていきたいと考えています。

① 能美市教育委員会と学校が推進していくこと

○ 学校全体で取り組む学力向上

能美市教育委員会では、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を確実に育成することが重要だと考えています。

教科に関する調査は、これからの子供たちに必要な資質・能力が、教科の内容を通して表されたメッセージと捉えています。

実施した当該学年に限定した結果とするのではなく、解答状況や誤答の傾向を設問ごとに丁寧分析することで、学校全体で授業改善に取り組み、学力向上を目指します。

○ 学びを自覚できる授業づくり

能美市の学校では一人一人の資質・能力を伸ばせるように、下記のような授業を目指し学校全体で取り組みます。

- 授業の目標を生徒と共有し、学ぶ目的が明確になっている授業
- 各教科の知識や技能がしっかりと定着する授業
- 自分の考えを持ち、生徒同士の学び合いで考えを広めたり深めたりできる授業
- 思考・判断したことを、根拠や筋道を明確にして表現する力を育む授業
- 視点を明確にして授業を振り返るなど、1人1人が個に戻って自分の学びを自覚できる授業
- 一人一台端末やICT機器を効果的に活用することで、個別最適な学びと協働的な学びが実現する授業

○ 学びの基盤づくり

学習の基盤をつくる活動を充実させ、周りの人を大切に、互いに高め合っていく学級づくり・学校づくりを推進します。子供たちが、笑顔で安心して過ごせる、魅力ある学級・学校を目指していきます。

② 家庭・地域の方々と協働して進めていきたいこと

○ 「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進

毎日決まった時間に寝起きすること、食事をきちんととることなどは、子供たちが学校生活を生き生きと過ごすベースとなるものです。

規則正しい生活「早寝・早起き・朝ごはん」を家族みんなで心がけましょう。

○ 節度あるメディアの使い方

ネットは本来活用すべきものですが、適正な使い方ができないと生活が乱れ、いろいろなことがおろそかになってしまいがちです。

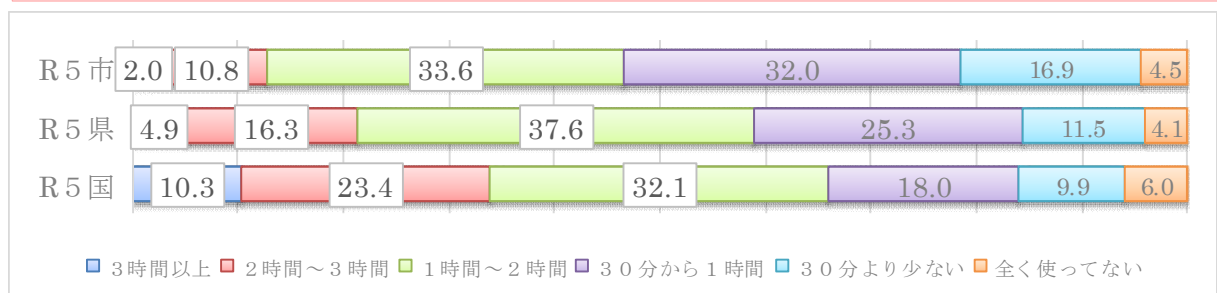
テレビやゲームの時間や、スマートフォンなどの使用に関しては、ネットトラブルを防ぐためにも、家庭でしっかりと話し合っ規則を決めましょう。

○ 家庭学習の確立

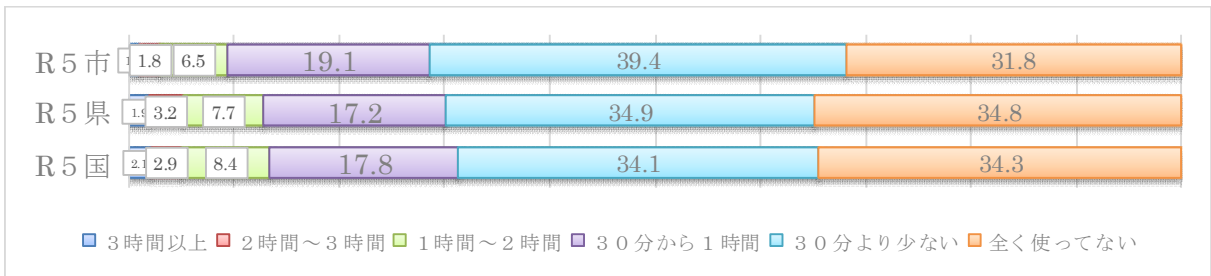
学校での学習内容を身につけるためには、継続した家庭学習が欠かせません。

家で平日、学校の授業時間以外で、勉強時間が1時間以上(1h～)の生徒の割合は、約46%でした。

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



能美市では、一人一台端末が家庭でも有効活用できるように、個別最適な学びの一つとしてAIドリルを導入整備しています。学校での授業と家庭学習を連動させ、学びの充実を図っていきましょう。

タブレットや教科書・ノートを使った授業の予習や、授業での友達と一緒に取組んだ作品や考えに触れ、学びを再度確認したり、自分の学びを振り返ったりして、次の学びに生かしていくと自分で学びを調整する力が高まります。

部活動や習い事などの自分のスケジュールを考えて、計画を立てたり調整したりすることも大切な力となります。自立した学び手を目指して、興味関心に応じて発展的な学習にもチャレンジしていきましょう。